

季刊 てんぱうたい

社会福祉法人 常美会

おくらの里

愛媛県新居浜市御蔵町11-23
TEL (0897) 31-6113
FAX (0897) 31-6114

第66号
2023年春

令和5年度 社会福祉法人 常美会
基本運営方針

事業活動の要となる今いる人財の定着と新たな人財の確保を行い、適切なサービスの実践、地域における社会福祉法人としての役割を果たせるよう、法人組織体制の見直しと財政基盤の安定化、円滑な運営を行う為の新たな取り組みを実施していきます。

【基本理念】 常に美しい心

【行動指針】

- 一、人権の尊重
- 二、サービスの質の向上
- 三、地域社会との関係の継続
- 四、生活・ケア環境の向上
- 五、地域福祉の推進
- 六、公益的取り組みの推進

【重点目標】

- 一、人材の定着と財務基盤改善への取り組み
 - (1) 人材の定着と確保に向けた環境改善への取り組み
 - (2) 組織体制の整備と拠点間連携、財務改善に向けた取り組み
- 二、安定した福祉サービスの供給と法令遵守の徹底
 - (1) 安定した質の高いサービスの提供
 - (2) 透明で公平な運営と法令遵守の徹底
- 三、社会福祉法人として必要な取り組み
 - (1) 社会のニーズに応じた地域や家族との繋がり
 - (2) 非常事態に備えたBCPの整備



日頃より常美会をご支援いただき、誠にありがとうございます。4月1日付で、おくらの里施設長に就任いたしました曾我部康志です、どうかよろしくお願いいたします。

定年退職まで勤めました新居浜市役所やその後の社会福祉協議会で介護福祉の仕事に携わり、昨年からはおくらの里で在宅介護支援センターに従事してまいりました。母の介護が必要となり志した道ですが、この度

このような機会をいただき職責の重さに戸惑つておりますが、ご利用者様・ご家族様の想いを大切にした施設を職員一丸となつて目指していきたいと思つております。

現在の高齢社会において地域包括ケアシステムの構築が進められていますが、おくらの里は、更に質の高い介護サービスの提供を通じて、地域を支える施設としての機能を果たすべく、地域の高齢者の皆様が安心して生活できるように努めてまいります。ご利用者・ご家族の皆様、地域の皆様にお力添えいただきながら、常美会がこれまで築き上げてきた地域

就任のご挨拶

おくらの里

施設長 曽我部 康志

との絆を損なうことのないよう、より信頼され、頼りにされる地域資源となるべく切磋琢磨し、誰からも親しまれる施設として成長してまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願ひいたします。

施設ご利用者様の中では、入所の方には、私たち職員と心温まる交流や繋がりが感じられ、終の棲家として心地よい居場所であると感じてもらえるように、通所の方には、笑顔で一日を過ごし、また明日も来たいと思つてもらえるように、それから職員には、自分の親も介護が必要になつたらお世話になりたいと思えるように、熱意を持つて頑張つてまいります。

末尾になりますが、この数年コロナウイルスの影響を受け、ご利用者様・ご家族様に大変ご不便をお掛けしておりますことのご協力に感謝申し上げますとともに、職員もその状況の中、精一杯頑張つておりますので、引き続きご理解とご協力を願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



春爛漫

長い冬が終わりました。冬と共にコロナもようやく終わりつつあります。
パッと咲く桜の様に、皆様も笑顔を沢山咲かせて下さい。

節分の日

鬼に扮装して、
記念撮影



惠方巻きの代わりにロールケーキをほおばってまス(笑)



今年の春は珍しい来訪客がありました。日本代表『桜』さんです。サプライズとばかりに、『桜』さんの方から皆さんを笑顔満開にするために来てくれました!そして…花見といえば…、団子がつきもの!! 室内ではありましたが、存分にお花見を楽しんだ後に食べたフルーツサンドは、更に皆さんを笑顔にしてくれました。まさに花より団子ですね。

思い出に残る、季節感満載の一日本となりました(*^_^*)。

桜と一緒に記念撮影(^^♪



おやつは手作り フルーツサンド



もう1個
ちょうどいい。



おいしいね。



今日は節分とひな祭りのベストショットを 選んでみました～!!

おくらの里
別館

節分

節分の日に、みんなで鬼に変装して、鬼の面をつけた今年の干支のうさぎと写真を撮りました。



デイサービスセンターおくらの里

節 分

お花紙で作った豆を両手いっぱいに持って鬼にぶつけました!

これで無病息災!!
1年間元気で過ごせます♪



ひな祭り

今年は利用者様の発案でおひな様のパネルを作りました。利用者様と職員が協力し、半月程かけて完成しました。いざ顔を入れてカメラでパシャリ♪ 画像を見られ「これええね。」と喜ばれていました。



お花見

広瀬公園や河川敷にお花見に行きました。

満開の桜を見ながらコーヒーとおやつを頂き「きれいなねえ (^v^)」と春の到来を楽しめっていました。



介護保険負担限度額制度について

介護保険負担限度額制度とは、介護保険施設を利用した際にかかる費用(住居費・食費)を軽減する制度のことです。一般的に介護保険施設に入居した際にかかる費用のうち「住居費・食費」は全額自己負担です。しかし、一定の条件を満たした方に限り、費用が軽減される仕組みが「負担限度額認定制度」です。

対象となるサービスは、①特別養護老人ホーム、②介護老人保健施設、③介護医療院、④介護療養型医療施設、⑤ショートステイ、⑥地域密着型特別養護老人ホームです。毎年8月1日から翌年7月31日までの1年間の有効期間で、申請された月の1日から適用されることになります。毎年申請する必要があります。

今回は、介護保険施設を利用するうえで利用料金の減額に関わることを取り上げてみました。これから認定証の更新の時期になります。該当される方は申請されてみてはどうでしょう。

詳しくは、市役所担当課にご相談頂くか、各市役所担当課のHPでも詳細について掲載しております。また、施設においてもご相談を受け付けています。

※お願い：利用料金の支払いに関わることですので、入所されている方で新たに申請される方は、申請前に必ず施設にご一報いただければと思います。

● 医務・栄養だより

新型コロナ感染対策研修会

3月20日、おくらの里にて、新型コロナの感染対策について講師の先生をお招きし、勉強会を開催しました。以下が主な内容になります。



1. 新型コロナの感染経路

感染経路には飛沫感染、接触感染、空気感染の3つがあります。飛沫感染では、飲酒を伴う懇親会や大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話などの場面で感染リスクが高まります。接触感染では、狭い空間での共同生活や休憩時間などの居場所の切り替りの場面で感染リスクが高まります。

2. クラスター発生を防ぐために

職員が職場外で感染しないために感染回避行動を徹底することが重要です。マスク、手指衛生、3密回避、換気、業務前の体調管理が感染対策となります。

3. 標準予防策

標準予防策の1つとして手洗いなどの手指衛生が挙げられます。利用者に触れる前、清潔／無菌操作の前、体液に曝露された可能性の後、患者に触れた後、利用者周辺の物品に触れた後の5つのタイミングでの手指衛生が重要です。

勉強会を経て、職員一同より感染対策を徹底していきたいと思いました。

居宅介護支援事業所 おくらの里

「要介護認定」の申請

65歳以上の年齢になって、いざ介護保険サービスを使いたい、使わないと生活が回らないとなれば、自分で、家族で、あるいは地域包括支援センターや最寄りのケアマネージャーさんなどに手伝ってもらって、要介護認定を申請します。その結果、介護が必要だと認定されたら、介護保険サービスを受けることができます。

なお40歳から65歳までの場合は条件があり、定められた16の特定疾病による要介護・要支援状態になった場合にのみ、使えることになります。

聞いたことがあると思いますが介護保険の認定の段階には、「要介護1～5」「要支援1、2」の7段階があります。(数字が大きいほうが介護度が重い)。「非該当(自立)」の認定を受けた場合は、介護保険サービスを使うことはできません。「介護保険サービスを使いたいけど、どうしたらいいのかわからない」と言う方は遠慮なくご相談ください。

2F

地域密着型 特別養護老人ホーム 広瀬の里

八重桜・向日葵

新年式

こうして皆さんと元気に新しい年を迎えたことを嬉しく思います。今年も1年、皆さんとご家族のご健康を心から願っております。



お花見

コロナ禍で行けなかったお花見にやっと行くことができました。みなさん「綺麗だねえ～。」と話しながら、桜を眺めていました。

帰りの車の中でも「お花見連れて行ってもらって嬉しかった。」と嬉しい言葉を頂きました。



3F

地域密着型 特別養護老人ホーム 広瀬の里

金木犀

ひな祭り

広瀬入り口に大きなおひなさま。

皆様の健やかさと幸せを祈りながら記念写真を撮りました。



お花見

3月30日は快晴!!

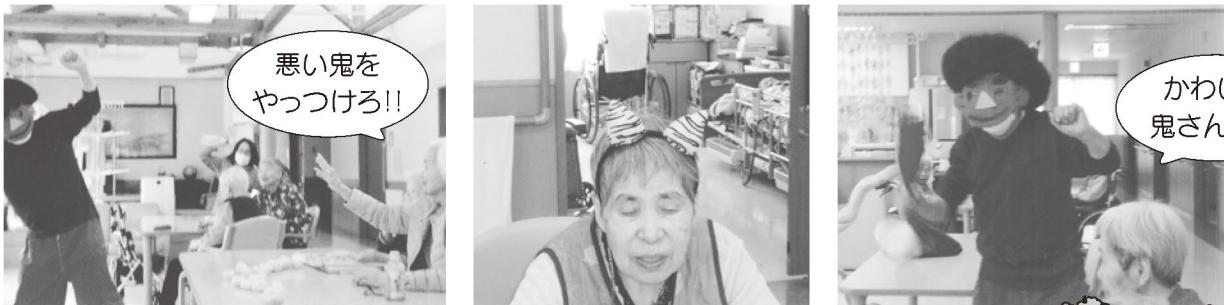
満開の桜を見ながらコーヒーをいただきました。



グループホームうわばら

新型コロナの感染も少し落ち着き始めましたが、入居者さんやご家族の皆さんには大変ご迷惑、ご不便をお掛けし誠に申し訳なく思っています。元の生活と同じとはいきませんが、これからも私達は入居者さんと共に、幸せな生活が送れるよう、日々目の前の入居者さんに向き合い寄り添っていきます。

節 分



節分の日 今年も赤鬼が現れました。入居者の皆さんの協力で豆を投げつけて、鬼を退治することができました。ストレス発散になったのではないでしょか。

ひな祭り



お花見

お花見に行きました。昨年はコロナ禍で車窓からだけの花見でしたが、今回は久しぶりにお弁当を楽しみました。

皆さん、花より団子で、お弁当に舌鼓を打たれていきました。

天候にも恵まれ皆さん大変楽しまれていました。

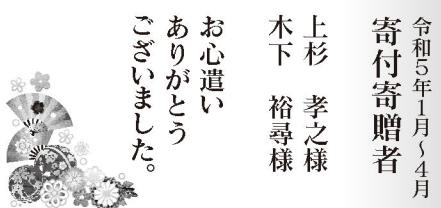


地域包括支援センターにご相談ください

角野地区にお住いの皆さん、病気かなと思ったら医療機関を受診するなど自発的に健康管理を行い、家族、友人、近所の助け合いなどもあって、住み慣れた所で暮らしていますが、高齢になると、体の不調や物忘れなど、不自由なことが増えてきます。これまで出来ていたことが出来なくなったり、少しずつ出来ないことが増えてきた、と困惑したり、身体の故障や物忘れが多くなり、生活し辛くなったりして、近くに頼れる人は居ないし、どうしようなんて困っている方もおられます。

地域包括支援センターには介護・保健・福祉の専門家が居り、高齢者の尊厳保持と自立生活の支援を目的として、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、様々な相談をお受けしています。

専門知識を持った職員が、介護サービスや介護予防サービス、保健福祉サービス、日常生活支援などの相談に応じていますので、地域包括支援センターや協力機関おくらの里に気軽にご相談ください。



職員募集のお知らせ

社会福祉法人常美会では引き続き、年齢や経験を問わない幅広い人財を募集しております。詳しくは施設までお気軽にお問い合わせください。下記以外の職種(パート含む)も募集しておりますので、希望がありましたら問合せください。

●募集職種

介護職員・看護職員・調理職員
児童指導員・保育士

●お問い合わせ先 おくらの里 TEL(0897)31-6113まで

施設の様子や職員のブログをホームページで公開しておりますのでご覧ください。

令和5年4月1日で児童養護施設 東新学園は開所して3年目を迎えます。職員が日々子どもたちに寄り添つた支援をしてくれているおかげで、子どもたちも2年前から大きく成長した姿を見せてくれています。子どもたちは新年度を迎えるが、学年が1つ上がりります。4月から幼稚園に入園する子や小学校や中学校に入学する子もあり、新生活に期待と不安を抱いています。新年度も子どもたちが幼稚園・学校での生活が楽しいと思えるように、職員一丸となって支援していくと思います。

地域の皆様や関係機関の方々、昨年度も大変お世話になりました。皆様のおかげで、1年間を無事に終える事ができました。今年度も引き続き、東新学園を温かく見守つていただければ幸いです。

東新学園職員一同

令和5年4月1日から、東新学園に新しい職員が入職しました。社会人一年目という事もあり不安も大きいと思います。佐々木さんには、東新学園の先輩職員から多くの事を学び、児童とたくさん関わりながら、良い保育士になつてもらいたいです。

東新学園 管理者 大星



おくらの里

〒792-0047 愛媛県新居浜市御蔵町11番23号
TEL(0897) 31-6113 FAX(0897) 31-6114

広瀬の里／地域密着型特別養護老人ホーム・短期入所生活介護
〒792-0047 愛媛県新居浜市御蔵町11番20号
TEL(0897) 47-3367 FAX(0897) 41-3338

うわばら／認知症対応型共同生活介護
〒792-0046 愛媛県新居浜市上原四丁目1番15号
TEL(0897) 47-0900 FAX(0897) 40-3456

東新学園／児童養護施設
〒792-0047 愛媛県新居浜市御蔵町11-3
TEL(0897) 47-6145 FAX(0897) 47-6146

E-mail●okura11@okuranosato.com
ホームページ●https://www.okuranosato.com/

児童養護施設 東新学園

編集後記

風薫る季節を迎え、施設から見える山々の緑も色鮮やかに輝いています。日中は気温も上がり過ごしやすくなっています。新型コロナウイルス感染症について、マスクの着用は3月13日以降、「個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる」とされ、5月8日からは5類感染症に位置付けられました。野球やサッカーなどのスポーツの応援も声出しがOKとなつて、世間では、ようやく以前のような日常を取り戻しつつあるように思えます。とはいっても、高齢者など重症化リスクの高い方が生きている場に従事している私達職員は、マスクの着用消毒など感染対策を日々変わらず心がけています。また、入館される方につきましても、引き続きマスクの着用等にご協力いただいているおります。

一方、利用者・入所者の方々の外出行事などは状況を見ながら少しずつ再開しており、今後も明るく笑顔で楽しく日常を過ごしていただけるよう職員一同考えております。3月は日本中の野球・WBCの日本優勝に沸き、T.V視聴率は40%超えだたそうですね。私もわかつアソブとして連日ワクワク・ドキドキの感動を味わつた一人として、日本代表チームのチームワークのすばらしさに感銘を受けました。それは、仕事など日常にも通ずるよううに思えた方も多かつたのではないかとも思いますが、皆が同じ信念を持ち一致団結し…との理想通りでいなかとも日々向土心を持つて前進出来ればと思います。暑い季節とも向かいます。健康にはくれぐれもご留意下さい。とともに、施設・本誌面に関するご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にお申し付け下さい。